

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 4 月 3 日 (2008.4.3)

【公開番号】特開 2007-145732 (P2007-145732A)

【公開日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【年通号数】公開・登録公報 2007-022

【出願番号】特願 2005-339573 (P2005-339573)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/44 (2006.01)

A 6 1 Q 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/44

A 6 1 Q 5/04

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 2 月 20 日 (2008.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石、真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも 1 つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水と、アルギニンまたはグルタミン酸のいずれか一方と、エルシステインと N アセチルシステのうちの少なくとも一方とを混合し、pH を 7.7 ~ 9.5 としたことを特徴とするウエーブ・カール用パーマ液。

【請求項 2】

前記トルマリンに、アルミニウム、ステンレス及び銀のうちの少なくとも 1 つから成る金属を混在させたことを特徴とする請求項 1 記載のウエーブ・カール用パーマ液。

【請求項 3】

前記水 80 g に対し、前記アルギニンまたは前記グルタミン酸のいずれか一方を 1 g 以上と、前記エルシステインと N アセチルシステのうちの少なくとも一方を 2 g ~ 7.5 g とを混合することを特徴とする請求項 1 乃至 2 記載のウエーブ・カール用パーマ液。

【請求項 4】

前記 N アセチルシステを 0.4 g ~ 7.5 g 加えることを特徴とする請求項 3 記載のウエーブ・カール用パーマ液。

【請求項 5】

前記トルマリンと前記金属との重量比を 10 : 1 ~ 1 : 10 としたことを特徴とする請求項 2 記載のウエーブ・カール用パーマ液。

【請求項 6】

前記トルマリンをセラミックに対し重量比 10 % 以上の割合で混合させて 800 °C 以上で加熱したものとすることを特徴とする請求項 1 乃至 2 記載のウエーブ・カール用パーマ液。

【請求項 7】

前記岩石を 800 °C 以上で加熱したものとすることを特徴とする請求項 1 乃至 2 記載

のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 8】

最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石、真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも 1 つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水と、過酸化水素水とを混合したことを特徴とするウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 9】

前記トルマリンに、アルミニウム、ステンレス及び銀のうちの少なくとも 1 つから成る金属を混在させたことを特徴とする請求項 8 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 10】

前記水と前記過酸化水素水とを混合した過酸化水素の濃度を 1 % ~ 2 . 7 % とすることを特徴とする請求項 8 乃至 9 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 11】

前記混合物の 99 c c ~ 99 . 5 c c に 0 . 5 c c ~ 1 c c の梅酢またはクエン酸を加えることを特徴とする請求項 10 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 12】

前記トルマリンと前記金属との重量比を 10 : 1 ~ 1 : 10 としたことを特徴とする請求項 9 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 13】

前記トルマリンをセラミックに対し重量比 10 % 以上の割合で混合させて 800 ° C 以上で加熱したものとすることを特徴とする請求項 8 乃至 9 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【請求項 14】

前記岩石を 800 ° C 以上で加熱したものとすることを特徴とする請求項 8 乃至 9 記載のウェーブ・カール用パーマ液。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係るウェーブ・カール用パーマ液（第一液）は、最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石、真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも 1 つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水と、アルギニンまたはグルタミン酸のいずれか一方と、エルシスティンと N アセチルシステのうち少なくとも一方とを混合し、pH を 7 . 7 ~ 9 . 5 としたことを特徴とするものである。本発明は、前記トルマリンに、アルミニウム、ステンレス及び銀のうちの少なくとも 1 つから成る金属を混在させたものである。本発明は、前記水 80 g に対し、前記アルギニンまたは前記グルタミン酸のいずれか一方とを 1 g 以上と、前記エルシスティンと N アセチルシステのうち少なくとも一方を 2 g ~ 7 . 5 g とを混合することを特徴とするものである。本発明は、前記 N アセチルシステを 0 . 4 g ~ 7 . 5 g 加えることを特徴とするものである。本発明は、前記トルマリンと前記金属との重量比を 10 : 1 ~ 1 : 10 としたことを特徴とするものである。本発明は、前記トルマリンをセラミックに対し重量比 10 % 以上の割合で混合させて 800 ° C 以上で加熱したものとすることを特徴とするものである。本発明は、前記岩石を 800 ° C 以上で加熱したものとすることを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明に係る他のウェーブ・カール用パーマ液（第二液）は、最初にイオン交換樹脂に通過させ、その後トルマリンと、黒曜石、真珠岩及び松脂岩のうちの少なくとも１つから成る岩石とのどちらか一方を先に他方を後に通過させた水と、過酸化水素水とを混合したことを特徴とするものである。本発明は、前記トルマリンに、アルミニウム、ステンレス及び銀のうちの少なくとも１つから成る金属を混在させたものである。本発明は、前記水と前記過酸化水素水とを混合した過酸化水素の濃度を１％～２．７％とすることを特徴とするものである。本発明は、前記混合物の９９ｃｃ～９９．５ｃｃに０．５ｃｃ～１ｃｃの梅酢またはクエン酸を加えることを特徴とするものである。本発明は、前記トルマリンと前記金属との重量比を１０：１～１：１０としたことを特徴とするものである。本発明は、前記トルマリンをセラミックに対し重量比１０％以上の割合で混合させて８００℃以上で加熱したものとすることを特徴とするものである。本発明は、前記岩石を８００℃以上で加熱したものとすることを特徴とするものである。